



「V.I.T.フォーラム」は、国際会議場で開く。V.I.T.はVisits(訪問)、Invest(訪問)、Inve(訪問)の略。参加費は無料。定員150人。申し込み先はジェット口富山貿易情報センター(〒076-444-7901)。

立山 富山 観

富山県商工連合会と立山町、上市町、大山町(現富山市)の3商工会は連携して、立山山ろくの魅力を全国に発信する目的で観光振興と特産品の販路拡大プロジェクトを始

で熱い議論

ついで記念講演を正人氏と、それぞれの分野で実践しているスペシャリストからの本音トークに聴き入っていました。第4部の夕食を兼ねた情報交換会では350名を越える参加者の熱い思いが寄せられ、地元はもちろん参加者すべてが元気をもらいました。

「沖繩の体験型観光の第一人者である」がもたらす教育効果②広域連携とコディネット組織ライカナイの加蘭が成功の鍵③農山漁村振興(宏氏、南信州観光と過疎対策は体験型観光で社の設立担当である④団塊の世代への対応とマタ長野県飯田市教育委員会の竹前雅夫「地元受け入れ側」を基に熱い議論が繰り広げられました。総勢600名近くもの参加があり、分

平成19年2月17日
観光経済新聞 掲載記事

インターネット上にホームページ(H.P.)の開設で3地域の観光スポットを紹介し、特産品も販売する。プロジェクトの狙いは、年間百万人以上の観光客が訪れる立山、黒部アルペンルートだけでなく、立山連峰のふもと地域のブランド化を図りアピールするため。

限定4コースを設定。H.P.でコースを紹介し、予約を受け付けている。また、特産品のネット販売は、大山町の「みようが寿し」や立山町の天然水「美女の舞」などの約20商品があり、今後特産品の種類を増やしていく予定。

3商工会は、立山山ろくの認知度を全国的に高めるため販促活動も力を入れている。同プロジェクトの観光



神戸市で高齢者や障害者ための観光支援サービスを目的として活動している神戸ユニバーサルツーリズムはこのほど、フォーラムを東京都江東区にある船の科学館で開催。基調講演やプレゼンテーション、パネルディスカッションを行った。基調講演では、車いすで世界70カ国以上を旅した、木島氏は

透析患者向けツアー試行

伊勢志摩地域 福祉観光の確立へ

伊勢鳥羽志摩交流プロジェクトコンソーシアム主催で、人工透析が必要な人を対象にしたモデルツアーが1月16日から18日まで志摩市で実施された。人工透析を受けている人や高齢者、体に障害を持つている人たちに、安心して観光を満喫してもらえるように、旅先でも透析を受けられる観光ツアーとして実施された。モデルツアー名は、「ココロで食す旅プラン」。

「自然と人の匠が生んだ」とも嬉しい「食の旅」がテーマ。参加者は英虞湾巡りや海女小屋などを観光して、志摩市内の病院で人工透析を受けた。

同コンソーシアムは、伊勢志摩地域の観光関係者、NPO法人伊勢志摩パリアフリーツアーセンターや宿泊業や旅行業などの7企業・NPO法人でつくる事業参加共同体。経済産業省の「健康サービス産業創出支援事

業」に採択されたものを06年7月から受け、福祉観光のビジネスの確立に取り組んでいる。今後は、人工透析者向けのツアーをあらかじめ

コース設定して催行するのではなく、参加者の要望を生かしたオーダーメイド型で随時、申し込みがあれば手配できるようにしていく方針。

地域再生のフォーラム

地域活性化センターは3月5日、東京の虎ノ門パストラルで「地域再生実践フォーラム」と第11

回「ふるさとイベント大賞表彰式」を開く。フォーラムでは「地域再生の糸口を探る」をテーマに講演とワークショップを開催。講演では、山口義行立教大教授が「地域を再生させる現場

を生み出す社「ほしい」と語りサルツリーが全国に広がりと強調した。

石

島根県は8北区のリーガテル大阪で、根県観光情報催した。関西会社や報道関係300人が出では、澄田信知事が、世界見込まれる石や、3月10日県立出雲古代江開府400を中心に島の魅力をアピプレゼンテは、島根県立物館についてがあったほか



地域観光